

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

事務事業名		庁舎施設維持管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	総務企画部	課長名	濱田 善也
	施策	24	行財政改革の推進			所属課	企画財政課	担当者名	米澤 伸仁
	基本事業	90	公有財産の管理運営			所属班	財政班	(内線)	1233
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	合志市庁舎等管理規則		
	1	2	1	7	11041		成果優先度評価結果		
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 57 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)				
						コスト削減優先度評価結果			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	・合志庁舎及び西合志両庁舎施設等の機能を良好な状態で維持できるよう改修や修繕等を行う。 ・営繕業務として従来から行なわれており、施設規模の増大により業務量も増している。 ・厳しい財政状況の中、いかに施設の延命化を図るかが課題となっている。
【業務の流れ】	施設や設備に破損や不具合が発生したときは、現場状況等を確認、安全確保等の保全処置を行うとともに、適正な修繕を行う。
【主な予算費目】	需用費(修繕費、施設修繕費)、工事請負費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	・合併後、公共施設などの維持管理作業が疎かになったとの市民からの指摘も受ける。 ・厳しい財政状況の中、職員自ら維持管理に努め、経費節減に取り組むべきといった議会からの声もある。

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
・合志庁舎空調設備改修計画策定委託 ・西合志庁舎エレベータ改修工事 ・その他施設改修工事	
④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
⇒ ア:庁舎にかかる修繕件数	件
⇒ イ:庁舎にかかる工事件数	件
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
・施設(合志庁舎、西合志庁舎) ・施設利用者(市民・職員)	⇒ ア:庁舎利用者数 人
⇒ イ:	⇒ イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥ 成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
不都合なく安全に利用してもらう。	⇒ ア:施設の瑕疵による事故件数 件
⇒ イ:	⇒ イ:
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込
④ 活動指標	ア	件	38	31	30	50	30	30	30
	イ	件	5	13	3	3	3	3	3
⑤ 対象指標	ア	人	123,266	142,558	124,499	118,465	125,115	125,731	125,731
	イ								
⑥ 成果指標	ア	件	0	0	0	0	0	0	0
	イ								
投資入量	事業内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円			10,812			
		一般財源	千円	9,036	14,795	7,850		17,000	17,000
	(A) 事業費計	千円	9,036	14,795	18,662	0	17,000	17,000	17,000
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
人件費	正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4	4
	延べ業務時間	時間	1,175	1,250	1,000	1,050	1,000	1,000	1,000
	(B)人件費計	千円	4,665	5,000	3,980	4,179	3,980	3,980	3,980
トータルコスト(A)+(B)		千円	13,701	19,795	22,642	4,179	20,980	20,980	20,980

総トータルコスト	
全体計画	
～ 年度	
(期間限定複数年度のみ記載)	
	0
	0
	0

合志市

事務事業名	庁舎施設維持管理事業	所属部	総務企画部	所属課	企画財政課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷ 達成状態を維持するものとする。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 修繕業務であり、事象が発生してからの適切な対応のみである。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 修繕業務であり、最小限の人員で対応している。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ 行政財産の維持・修繕であり、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善)
 事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善)
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策